

2021年3月15日

株式会社 山陰合同銀行

ESG投資の視点を取り入れた船舶投資ファンドへの投資について

山陰合同銀行（頭取：山崎 徹）は、このたびアンカー・シップ・パートナーズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：篠田 哲郎）が組成した、ESG（環境・社会・企業統治）投資の視点を取り入れた船舶投資ファンド「アンカー・ディスカバリー合同会社」（以下、「本ファンド」）に対する出資契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本ファンドは、環境や社会に前向きな影響をもたらす船舶分野に資金を投じる計画であり、主要な投資ターゲットとして環境負荷の低い液化天然ガス（LNG）を燃料とするLNG運搬船を予定しております。将来的には、CO₂を排出しない水素やアンモニアを燃料とする船舶への投資も検討するなど、脱炭素社会の実現に貢献する取り組みであると考えております。

本ファンドは、ESGと経済合理性を両立させることで持続可能な投資を目指す「インパクト投資」の概念を取り入れており、三井住友信託銀行からインパクト投資との評価認定を受け、更に格付機関である日本格付研究所（JCR）からも第三者意見を取得する予定であります。

山陰合同銀行グループは、今後も事業活動を通じて気候変動対策などの社会の課題解決に取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

以上

